

【循環器内科】

1 研修目標

全人的医療を行う医師として基本的に必要な循環器疾患についての知識、診断、検査及び医療技術を習得することを目標とする。

一般目標 (GIO: General Instructional Objective)

- (1) 臨床医に求められる基本的な診療に必要な知識、技能、態度を身につける。循環器学の診断技術と治療学を習得し、循環器救急治療の初期治療にも対応可能な段階に達することを目標とする。
- (2) 初期診療と救急蘇生に関する臨床的能力を身につける。
- (3) 慢性疾患患者や高齢患者の管理上の要点を知り、社会復帰の計画立案ができる。
- (4) 患者およびその家族に対する接遇の基本を身につける。
- (5) チーム医療において、他のメンバーと協調した医療行為が行えるようになる。
- (6) 患者の持つ問題を心理的、社会的側面を含めた問題解決能力を身につける。労災病院の特色である治療と仕事の両立支援について理解、介入について学ぶ。
- (7) 医療行為に関する適切な診療録を作成することができる。

行動目標

1	良好な医師 患者関係の構築	患者さんやその家族と良い信頼関係を保てるような診療ができる。また、医療書類（診断書、依頼状、紹介状、報告書）の書き方を学ぶ。
2	心・脈管系の診察	的確な病歴聴取、正確な聴診・触診を行い、記録にまとめることができる。
3	循環器疾患における 病態の理解	各循環器疾患の病態について述べるができる。
4	検体検査、レントゲン 所見の理解	検体検査、単純レントゲン検査の結果を判断し、その主要所見を述べるができる。
5	標準 12 誘導心電図	自ら実施し、結果を判断できるように、各心疾患の典型的な心電図を習得する。特に急性心筋梗塞の経過、狭心症や心房細動の心電図を理解する。
6	心カテーテル検査	臨床的意義と患者に検査内容を説明しえる知識を習得し、結果説明に立ち合う。

7	心臓超音波検査	自ら実施し、結果を判断できるように、心臓超音波検査法の基礎を習得する。
8	心臓核医学検査	臨床的意義と患者に検査内容を説明しえる知識を習得し、結果説明に立ち合う。
9	運動負荷試験	負荷心電図による虚血性変化と運動耐容能の捉え方の基礎を学び、習得する。
10	栄養管理、輸液管理	急性期・慢性期に分けて、適切な栄養管理・輸液管理ができる。
11	HCU における救急治療	急性冠症候群の初期診断と治療（心室性不整脈、心原性ショック、心不全の初期治療含む）を理解する。
12	緊急を要する循環器疾患に対する治療	心停止・ショック・意識障害・急性心不全・急性冠症候群の病態を理解し初期治療に参加する。救急外来において循環器科医師とともに、救急処置・蘇生法を学ぶ。
13	冠動脈疾患に対する侵襲的治療	冠動脈疾患に対する血行再建術（カテーテル・インターベンション、冠動脈バイパス手術）の適応を理解する。
14	不整脈に対する治療	不整脈に対する侵襲的治療（カテーテル焼灼術、ペースメーカーや植込み型除細動器など）の適応を理解する。
15	リハビリテーション医学	心筋梗塞などの心臓リハビリの目的を理解し、実施上の注意を習得する。心配運動負荷について理解する。
16	循環器疾患に対する薬物治療	薬剤投与の仕方と注意点を中心に薬物療法の基本を習得する。
17	生活習慣病に対する内科治療	心臓病のリスクとなる高血圧症・高脂血症などの生活習慣病の診断と管理・治療法を習得する。
18	大動脈疾患に対する治療	動脈疾患（大動脈瘤・大動脈解離・動脈硬化症）に対する診断と治療、特に外科的治療法の適応を理解する。
19	EBM に基づいた治療法の学習	ガイドラインにより最新の EBM に基づいた治療法を学ぶ。

2 研修方略

(1) 研修期間

原則 8 週連続の研修を行う。(2 年目や 2 回目以降は 4 週も可)

(2) 方法

	行動目標	方法	場所	担当者
①	1, 2, 3, 4, 5, 7, 19	講義/ 実地診療	カンファレンス 室、病棟	全員
②	1, 2, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18	実地診療	病室, 外来, 検査室	各担当医
③	1, 2, 3, 4, 6, 12, 13, 14, 16, 19	カンファ レンス	カンファレンス 室	全員
④	3, 4, 5, 10	自習	研修医室	なし
⑤	6, 8, 9, 11, 12, 13, 14	見学	血管造影室、 生理検査室	全員

(3) 週間スケジュール

曜日	午前	午後
月	病棟患者管理 生理検査室	合同カンファレンス
火	病棟患者管理 生理検査室	CAG PCI EVT PM
水	病棟患者管理 生理検査室	CAG PCI EVT PM
木	病棟患者管理 生理検査室	CAG PCI EVT PM
金	病棟患者管理 生理検査室	CAG PCI EVT PM

CAG = 冠動脈造影、PCI = カテーテル・インターベンション、
EVT = 血管内治療(主に下肢)、ABL = カテーテルアブレーション
PM = 心臓デバイス植込術(ペースメーカーなど)

3 研修責任者

循環器内科 部長 関 耕三郎

4 研修指導医

循環器内科 部長 瀧田 覚

循環器内科 部長 松田 晋

研修責任者と指導医(臨床経験 7 年以上)が指導にあたる。

5 評価

- (1) 研修医は経験目標にしたがって研修内容を記入し、病歴や手術の要約を作成し、指導医に提出する。また、研修到達度の自己評価結果を研修手帳に随時記入する。
- (2) 指導医および看護師を含む医療スタッフが、研修医の研修態度について、ローテート終了時に観察記録にもとづき評価する。
- (3) 研修の達成状況を当科研修終了時に、評定尺度(4段階)により行う。評価は自己評価および指導医によって行い、結果は臨床研修管理委員会に提出する。
- (4) 研修医によるプログラムの評価も同時に行う。
- (5) 研修責任者は上記評価結果を総合し、当科研修終了の判定を行う。